

新型コロナに負けるな、世田谷区！

かからない、うつさない工夫をご自身で。わたしはひとり「stay都内キャンペーン」実施中。

いそだくみこ

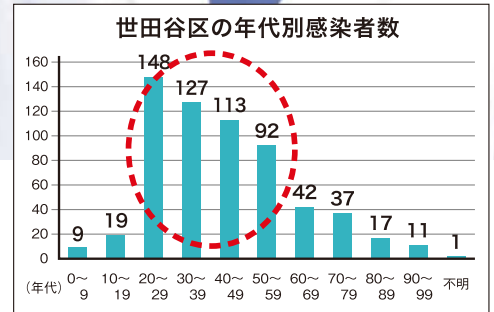
電機メーカー勤務、衆議院議員秘書を経て2019年4月に区議に初当選。
本号では第2回定例会報告と、区の新型コロナ感染症について対策を考察します。

2020. 夏号

特集 世田谷区の新型コロナ感染者の概要

人口の多い世田谷区では23区内でも新宿区に次ぐ感染者数があり、20～40代の感染者が多く、働く世代が過半数を占めています（男女比は6:4）。PCR検査は区内数か所で実施しており一日の検査数は150以上、受診が決まればほぼ待たずに検査でき、翌日～2日程度で検査結果が出ます。
陽性の場合、症状のある方は入院、軽症～無症状の方も2週間は宿泊療養（暫定的に自宅療養）となります。

※7月中旬現在

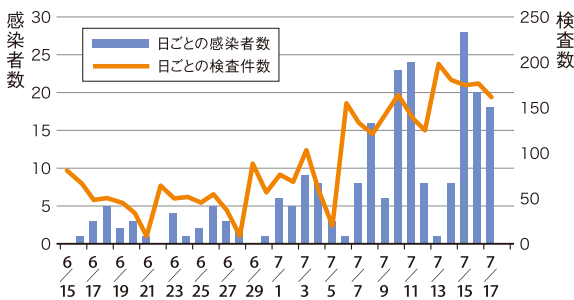


感染が疑われる症状

発熱、咳、鼻汁など風邪のような症状、嗅覚・味覚異常、倦怠感、息苦しさ。人によっては嘔吐や下痢。これらの症状が比較的長く続きます（7日間程度）。



世田谷区内のPCR検査件数と感染者数の推移



※土日は感染者数データの公表なし（世田谷区公表データからいそだ作成）

かかったかなと思ったら……相談窓口

感染拡大防止のため、相談はまず電話で！

- 世田谷区帰国者・接触者電話相談センター
03-5432-2910
(平日8:30～17:15)
- 土日休日・平日夜間の相談は
東京都新型コロナ患者相談センター
03-5320-4592
- またはかかりつけ医やお近くの医院にお電話を。
PCR検査は医療機関からも紹介可能です。

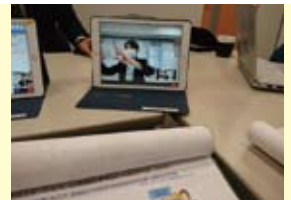
— 参考：世田谷区役所および厚生労働省ホームページ —



活動報告

遠隔診療システム視察

疾患があるが感染予防のため通院を控えたい場合に備え、電話診療や、在宅で医師とつながるオンライン診療が推奨されています（2020.4.10厚労省文書による）。新型コロナ感染症の在宅診療にも有効な遠隔診療システムについて調査しました。電機メーカー勤務時代に遠隔医療システムを担当していましたが、当時より伝送速度が速くなり画像が鮮明、バイタルデータ計測器（血中酸素濃度や体温計）もコンパクトになり実用的に。在宅患者の状態把握、院内感染を防ぐ新しい診療形態として期待されます。本件は一般質問で取り上げました。



三密を避け会派内でもオンライン会議を活用

ここで4本の要望書：コロナ禍による地域経済悪化への対応、学校や保育園休校時のケアや再開時の課題解決、医療や介護崩壊危機への対策、コロナ禍中に災害が発生したときの避難所運営等をまとめ、区長宛に提出しました。



▲ 保坂区長と会派でオンライン会議を実施

都知事選は野党共闘で

応援した弁護士 宇都宮けんじ氏は惜しくも現職に敗れましたが、同氏が主張していた雇用の保障や貧困対策、不急の公共事業費のコロナ対策費への転換については、区政に生かして行きたいと思えます。



皆様のご意見、ご質問もお待ちしております。下記までお寄せください。

事務を手伝って
くださる女性(パート)
募集中!

令和2年 第2回定例会 一般質問

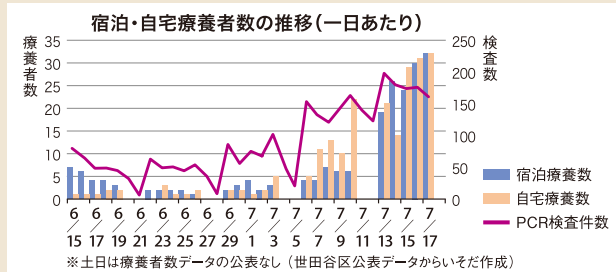
今回は新型コロナ対策のため、開会冒頭と採決時があるとき以外は議員の半数は控室に戻りテレビ中継を視ながら参加、またマスク常時着用での質問、答弁となりました。



コロナ対策に遠隔診療システムの活用を

Q1 新型コロナ感染症の陽性者のうち入院待ち期間や軽症者は自宅療養することもあるが、容体急変の際の対応が不十分である。自宅療養中にオンライン診療が出来る遠隔診療システムを採用してはどうか？

ニプロ社の遠隔診療システム「ハートライン」のデモ体験



A 厚労省がコロナ対策として遠隔診療の緩和策を発出していること、東京都の遠隔診療補助事業の活用状況、区内医師会の見解なども踏まえ有効性を検証、検討していく。

コロナ禍影響を受けたワーキングマザーへのサポートを

Q3 企業側の雇用調整や学校休校の都合でやむなく仕事を辞めたり、収入が激減している子育て女性が一定数いる。保育園や学校のスケジュールが見えにくい状況でもこのような女性が就職活動を開始し、柔軟に働けるような区の就労支援策はあるか？

A 三茶おしごとカフェを機能強化し、従来の対面相談以外にオンラインで求人情報が探せるようホームページを改修中。コロナ離職者が就労に結びつくようきめ細かな相談体制をとる。



三茶おしごとカフェ
(三軒茶屋就労支援センター)



個人事業主などへの休業補償の助成金給付について



Q2 多くの種類があってわかりにくいと評判の給付金。記載ミスも給付遅れの一因ともなる。各々に合う給付金を紹介し、一回で通る申請書が書けるような区でのサポート体制ができないか？

A 各々の事業者にあてはまる給付金を紹介したり、オンライン申請のサポートを行う総合相談窓口を準備、区の広報、チラシなどで周知する予定である。
☑️この後、7月20日より実際にワンストップサービス方式の相談窓口が開設されました。

小中学生にオンライン国際交流を

Q4 本年は、恒例の区立小中学校の海外派遣がコロナ禍影響で中止となった。代替案として、訪問予定だった児童生徒と現地校をオンラインでつなぐ国際交流ができないか？

A オーストラリアなど時差の小さい国とはリアルタイムの交流、カナダなど時差の大きい国とはビデオレターの交換など、相手校とも調整し検討していく。

小学5年生が訪問予定だったウィーンのNMS Krim校。教室内でタブレットが使われていました(19年10月撮影)



いそだ久美子プロフィール

1966年神奈川県生まれ 県立厚木高校、早稲田大学第一文学部卒。

三菱電機株式会社に入社、事務系総合職として勤務。衆議院議員手塚よしお秘書に転身、2019年世田谷区議会議員選挙初当選。労働問題、産業振興、都市計画などに取り組む。

<http://www.isokumi.com>